

社会実験期間：令和元年 10 月末～令和 2 年 9 月(予定)



ラウンドアバウト

ラウンドアバウト（環状交差点）の社会実験を実施します

“宇佐市安心院支所前の交差点”をラウンドアバウト(環状交差点)に改良し、通行の安全性などの社会実験を実施し、本格運用に向けた基礎資料の収集と効果検証を行います。

社会実験位置図



実験時のイメージ



ラウンドアバウト(環状交差点)って何？

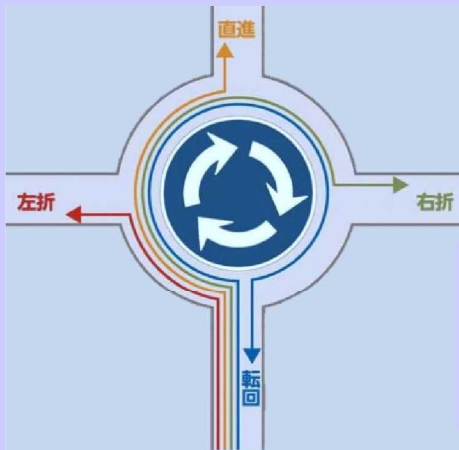
車両の通行する部分が環状の交差点であり、信号機を設けず、道路標識により車両がその部分を時計回りに通行することが指定されているものをいいます。この環状交差点においては、交通事故の減少、交差点における待ち時間の減少等が期待されます。

道路交通法が改正され「環状交差点」として平成 26 年 9 月 1 日に施行されて以来、全国で 78 箇所導入されています。(箇所数：国土交通省 平成 30 年 9 月末現在)

ラウンドアバウトの効果

- ①交差点での車両交通の安全性向上
- ②交差点での歩行者交通の安全性向上
- ③景観形成・ランドマーク形成
- ④災害時の対応の向上 等

【出典：国土交通省 ラウンドアバウトの効果・影響】



交差点イメージ



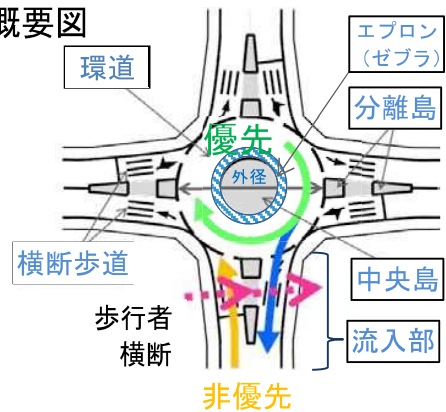
▲標識



ラウンドアバウトの概要

- 円形平面交差点のうち、環道の交通が優先されるもの
- 環道交通は時計回りの一方通行、信号や一時停止の規制を受けない
- 環道に流入する車両は徐行し、環道に通行車両がなければ一時停止なしに流入可能

○概要図



ラウンドアバウト(環状交差点)の通り方

ラウンドアバウト(環状交差点)を通行する時は？

あらかじめ、できる限り道路の左端によって、徐行して進行してください。環状交差点内は、時計回りに通行し、できる限り環状交差点の側端（外側）に沿って徐行しなければなりません。



環状交差点を出る時は？

出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したとき（環状交差点に入った直後の出口を出る場合には、その環状交差点に入ったとき）に、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続しなければなりません。



車両の優先関係は？

環状交差点においては、環状交差点内を通行している車両等が優先ですので、交差点内を通行する車両等の進行を妨げてはいけません。

環状交差点に入る時は、方向指示器による合図をする必要はありません。また、環状交差点に入る際、一時停止規制はありません。



歩行者に注意を！（歩行者優先）

環状交差点に入ろうとするときや、環状交差点内を通行するときは、その環状交差点または直近で道路を横断する歩行者などに特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。

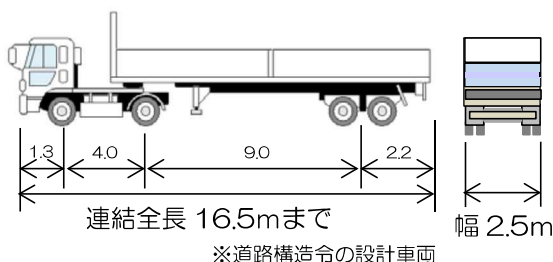


大型車の通行について

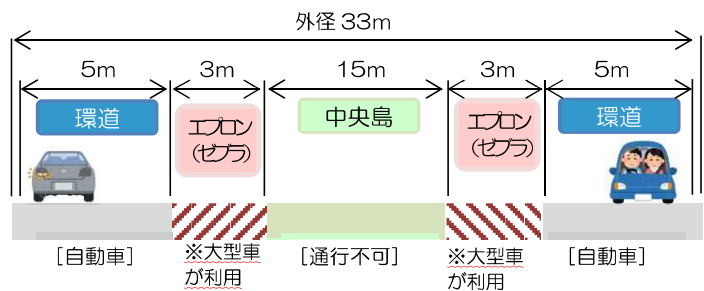
下記のセミトレーラー連結車（全長 16.5m）の通行を考慮して交差点の形状を決定しています

■ 通行可能最大車両(寸法): セミトレーラー連結車

下記を超える車両については、通行ができない場合がありますので、別途協議ください。



■ 環状交差点断面イメージ図



〈問い合わせ先〉

■ 大分県宇佐土木事務所 担当: 建設・保全課 企画・道路班

Tel : 0978-32-1300 (代) Fax : 0978-33-4956